

# CASBEE<sup>®</sup> 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都三哲プロジェクト	階数	地上10F
建設地	京都府京都市下京区油小路通木津屋横下北不動堂町565番3	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、高度利用地区、沿道型美観形成地区	平均居住人員	416 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年6月30日
敷地面積	1,167 m <sup>2</sup>	作成者	永井務
建築面積	848 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	7,474 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

環境品質 G (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値 100%, ②建築物の取組み 86%, ③上記+ 86%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境, Q2 サービス性能, Q3 室外環境(敷地内), LR1 エネルギー, LR2 資源・マテリアル, LR3 敷地外環境

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 需要の高まる宿泊特化型ホテルにおいて、敷地内に設ける庭により差別化を図りながら外部空間の豊かさを享受できる室配置の計画とする。機械設備は屋上または室内機械室への配置とすることで近隣への悪影響を最小化する配置計画とする。		その他
<b>Q1 室内環境</b> ホテル居室の環境を利用者にとって快適なものとするため遮音、断熱の措置を講じつつ、近隣の方向に応じて開口部を大きくとり開放的な空間としている。空気環境は十分な換気容量の確保とともにVOC/喫煙の発生を抑制している。	<b>Q2 サービス性能</b> ホテル居室の天井高さを有効に確保し、開口部とともに開放感を与える設えとする。また建物の高寿命化に備えメンテナンスの容易性を確保するとともに、高耐久性の外装仕上げを採用する。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 敷地内に中庭をはじめとして3つの庭を設け緑化を行っている。建物の中央に位置する中庭と前面道路に開いたピロティがつながることにより、卓越風と煙突効果による風の流れることのできる半外部空間を設けている。
<b>LR1 エネルギー</b> 外装躯体への断熱と庇等による外皮の熱負荷を低減し、エネルギーの効率化に配慮している。太陽発電の採用により自然エネルギーを有効活用している。一方で人工光はLED照明をはじめ設備システムの高効率化を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 既存インフラへの負荷低減のため、雨水貯留槽を設置している。また、水資源保護の観点から節水コマに加え節水型便器を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 屋上設備置場には防音フェンスを設け、近隣への騒音対策を行っている。また、卓越風を予測し厨房排気等の臭気が近隣へ影響がでない配置としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される